

富山県在住外国人の 状況について

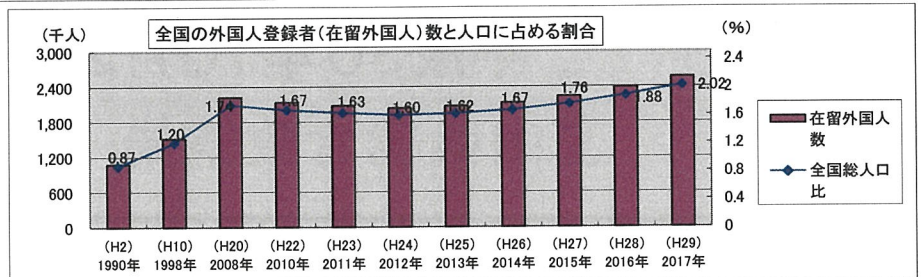
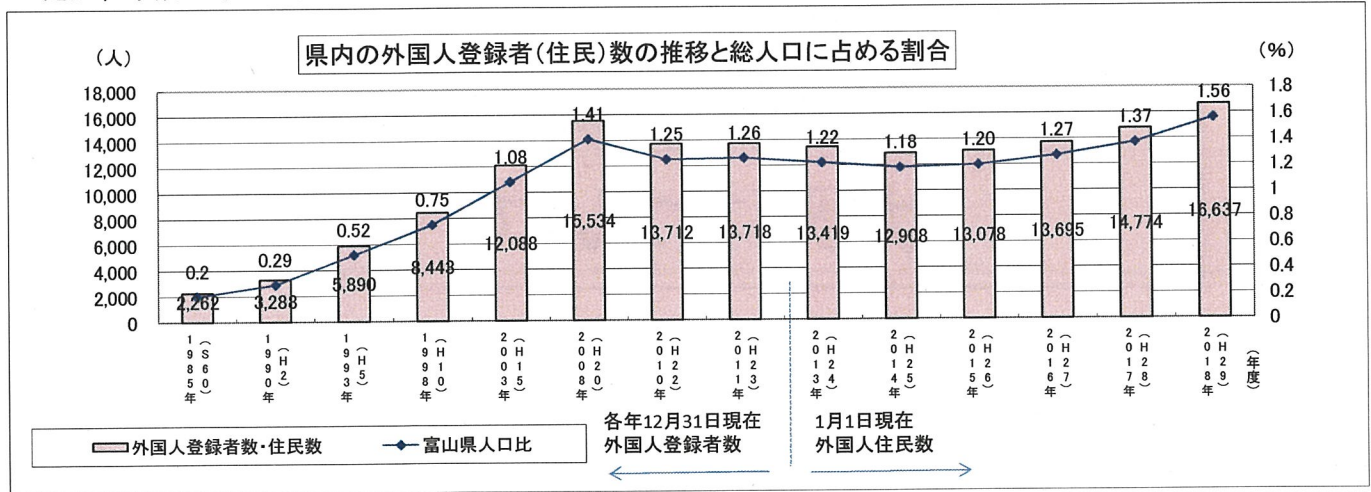
平成30年10月26日
富山県総合政策局 国際課

目次

- ①総数
- ②年齢別
- ③国籍別
- ④在留資格別
- ⑤市町村別
- ⑥就業等の状況(産業別、職業別)
- ⑦外国人児童生徒の状況
(小中学生、日本語指導が必要な児童生徒数)
- ⑧外国人留学生の状況(総数、出身国別)

外国人住民の状況 ①総数

県内における外国人住民数は、リーマンショックが発生した平成20年をピークに減少傾向にあったが、平成26年から再び増加。県の総人口に占める割合は、1.56%と全国（2.02%）に比べ低い。

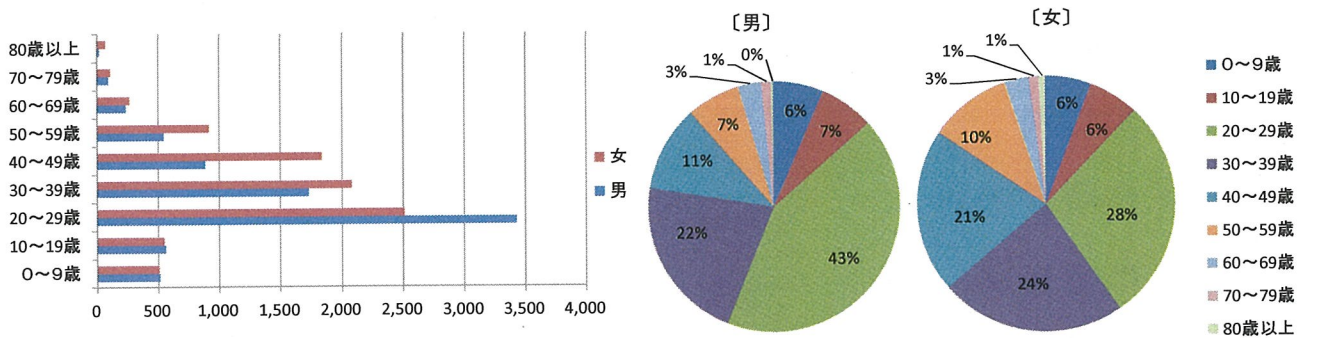


資料出所: 富山県国際課
法務省在留外国人統計(各年12月31日時点)
厚生労働省人口動態調査(各年10月1日時点)

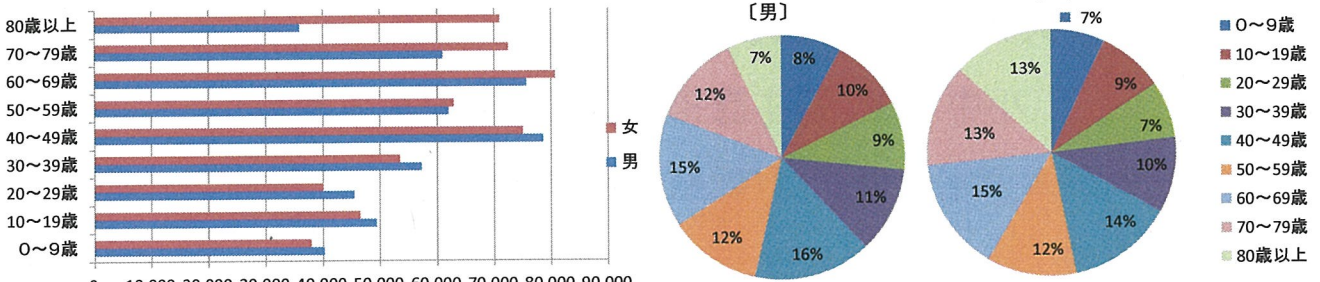
外国人住民の状況 ②年齢別

県内外国人住民は20～40代の年齢が突出して多い。また、20代においては特に男性の数が女性の数を大きく上回る。

富山県外国人住民者数 男女別年齢別人口(平成29(2017)年)



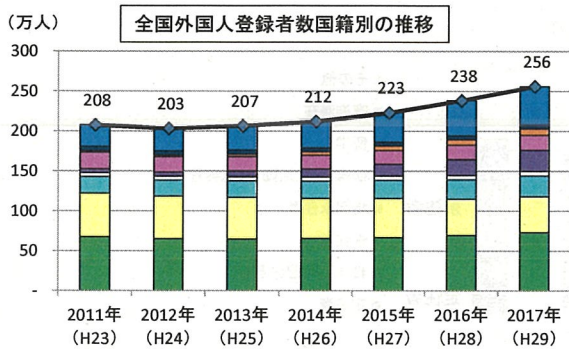
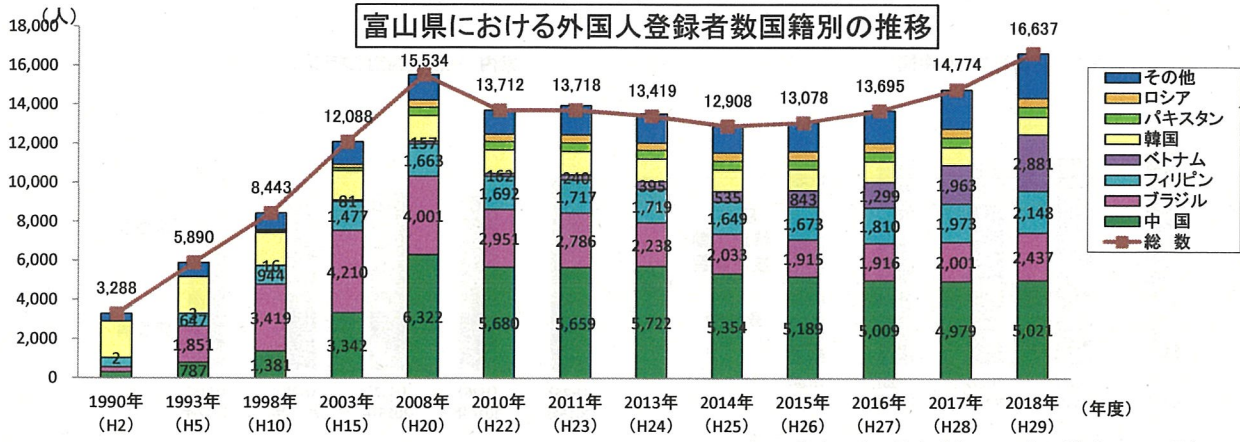
《参考》富山県男女別年齢別人口(平成29(2017)年)



資料出所: 法務省在留外国人統計(各年12月末現在)、平成29(2017)年富山県の人口(10月1日現在)

外国人住民の状況 ③国籍別

国籍別にみると、平成2年以降、中国・ブラジル国籍者が増加していたが、平成20年頃をピークに減少。代わって近年はベトナム、フィリピン国籍者などが増加しており、国籍が多様化しつつある。



(2011年までは12月末現在、2013年以降は1月1日現在)
【外国人住民数上位7国籍及び構成比】

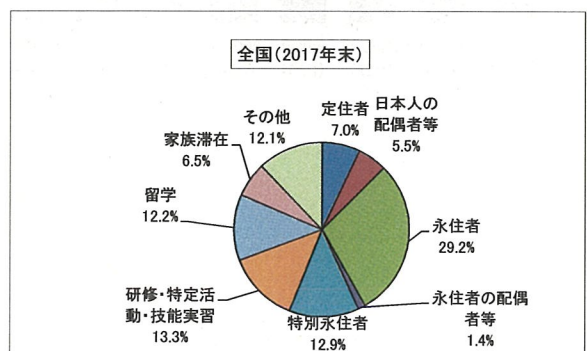
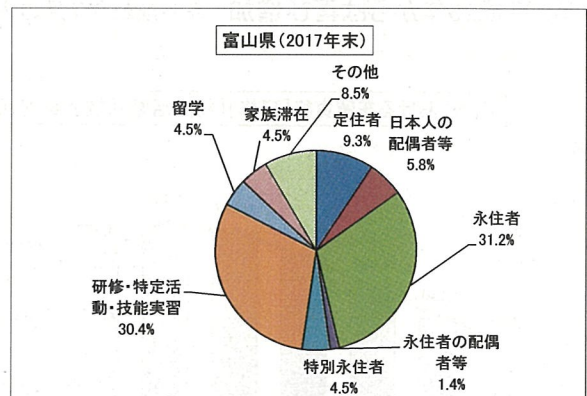
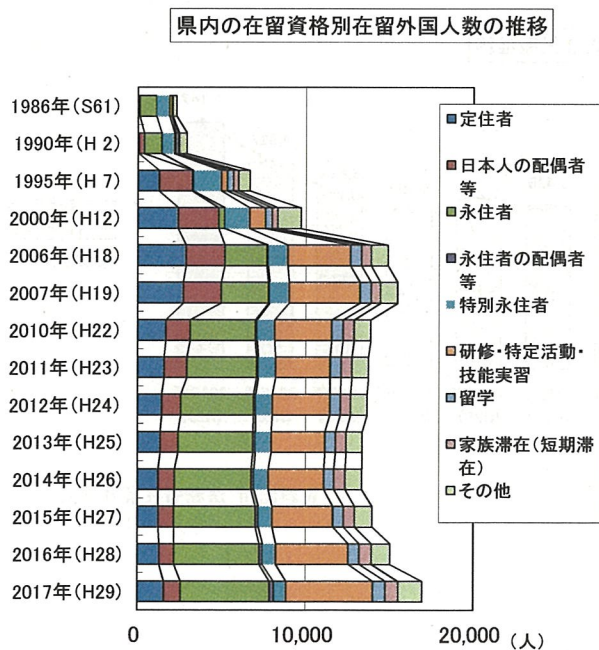
順位	富山県		全国	
	国籍	構成比	国籍	構成比
1	中国	30.2%	中国	28.5%
2	ベトナム	17.3%	韓国又は朝鮮	17.6%
3	ブラジル	14.6%	ベトナム	10.2%
4	フィリピン	12.9%	フィリピン	10.2%
5	韓国	5.4%	ブラジル	7.5%
6	パキスタン	3.0%	ネパール	3.1%
7	ロシア	2.8%	米国	2.2%

※2015(H27)年までは韓国または朝鮮

資料出所：富山県国際課、法務省在留外国人統計

外国人住民の状況 ④在留資格別

在留資格別にみると、近年、「永住者」の割合が増加している。また、全国と比較すると、富山県は研修・特定活動・技能実習の比率が高い。

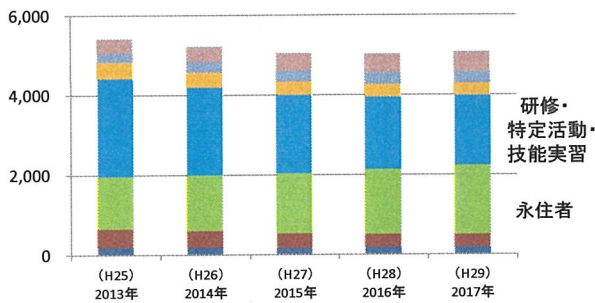


資料出所：法務省在留外国人統計
(各年12月31日時点)

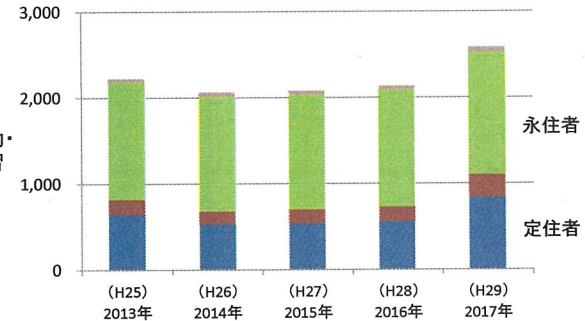
外国人住民の状況 ④在留資格別(中国、ブラジル、フィリピン)

外国人住民数が多い、中国、ブラジル、フィリピン国籍者について在留資格をみると、中国国籍者は研修・特定活動・技能実習、ブラジル及びフィリピン国籍者は永住者がそれぞれ最も多い。

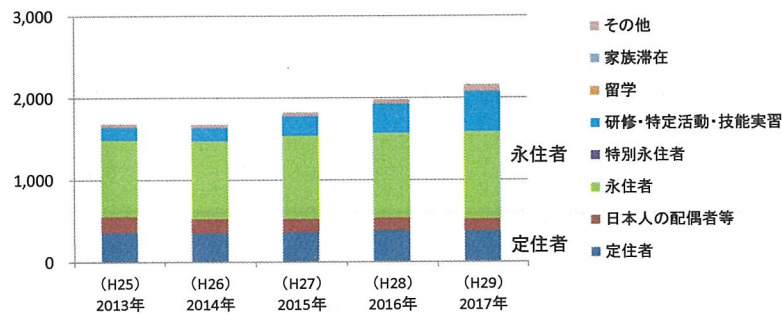
(人) 県内 在留資格別(中国)



(人) 県内 在留資格別(ブラジル)



県内 在留資格別(フィリピン)

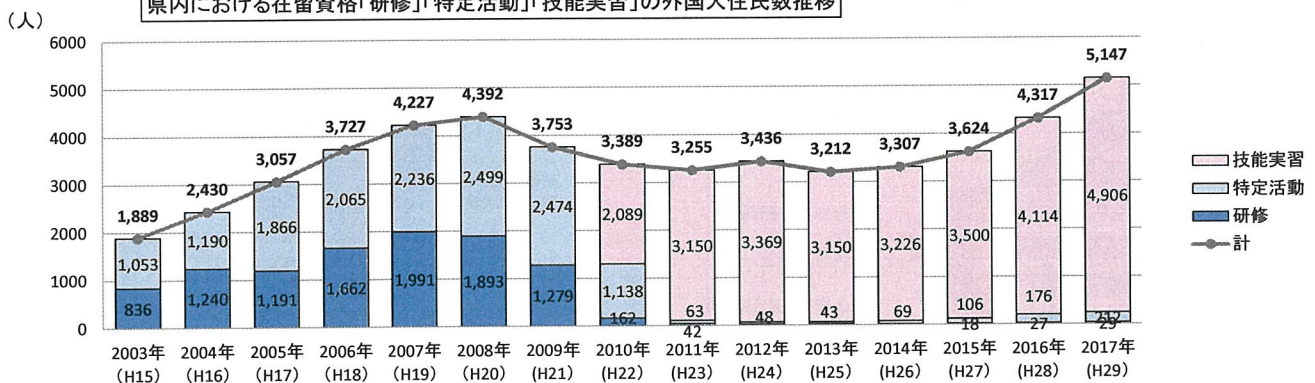


資料出所:法務省在留外国人統計
(各年12月31日時点)

外国人住民の状況 ④在留資格別(研修・特定活動・技能実習)

「研修」「特定活動」「技能実習」の在留資格で入国する外国人は、平成21年から減少傾向にあったが、平成26年からは再び増加 ※平成21年7月の入管法の改正により、在留資格「技能実習」が創設された。

県内における在留資格「研修」「特定活動」「技能実習」の外国人住民数推移



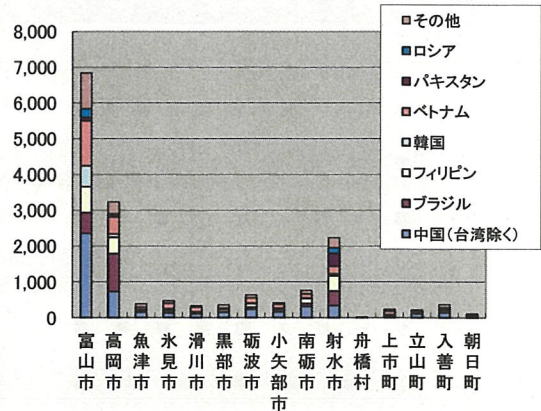
資料出所:法務省在留外国人統計
(各年12月31日時点)

外国人住民の状況 ⑤市町村別

市町村別にみると、富山市、高岡市、射水市に多く在住しており、この3市で7割を超える。また、国籍別の内訳は各市町村により異なっており、富山市は中国、高岡市はブラジル、射水市は中国、ブラジルも多いが、パキスタン国籍が多いのが特徴である。

市町村別外国人住民数2018(H30)年1月1日現在 (人)

	中国(台湾除く)	ブラジル	フィリピン	韓国	ベトナム	パキスタン	ロシア	その他	総数	住基人口に占める割合(%)	5年前総数(H25.1月)
富山市	2,357	571	733	577	1,263	91	248	995	6,835	1.63%	5,234
高岡市	730	1,056	460	91	475	53	42	329	3,236	1.87%	2,668
魚津市	149	13	50	18	67	4		92	393	0.93%	302
氷見市	125	53	56	10	160		3	69	476	0.98%	461
滑川市	113	12	22	16	127		3	34	327	0.98%	227
黒部市	150	20	58	15	28			92	363	0.87%	281
砺波市	230	65	98	18	147		1	79	638	1.31%	511
小矢部市	165	65	20	9	114			40	413	1.36%	341
南砺市	314	81	140	14	117		2	96	764	1.47%	727
射水市	343	399	425	60	216	359	155	277	2,234	2.39%	1,748
舟橋村	6			1	4			9	20	0.65%	6
上市町	22	25	22	17	96		4	48	234	1.12%	247
立山町	107	14	14	27	28		7	24	221	0.84%	178
入善町	146	60	39	12	35		1	78	371	1.47%	368
朝日町	64	3	11	13	4			17	112	0.91%	120
総数	5,021	2,437	2,148	898	2,881	507	466	2,279	16,637	1.56%	13,419



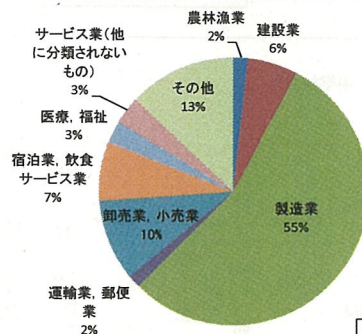
資料出所: 富山県国際課 (2018(H30)年1月1日現在)

外国人住民の状況 ⑥就業状況(産業別)

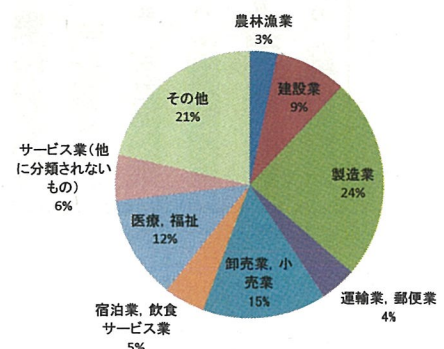
県内在住外国人の就業状況を産業別にみると、全体の半数以上が「製造業」に従事しており、次いで「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順となっている。

産業(11区分)	従業者数(人)
総数	6,804
農林漁業	117
建設業	408
製造業	3,728
運輸業, 郵便業	107
卸売業, 小売業	667
宿泊業, 飲食サービス業	484
医療, 福祉	182
サービス業(他に分類されないもの)	230
その他	881

富山県内の外国人の就業状況(産業別)



富山県の就業状況(産業別)



資料出所: 平成27(2015)年国勢調査

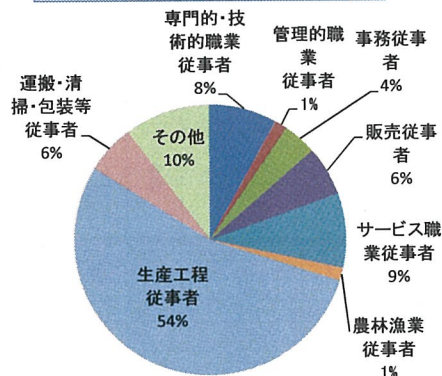
外国人住民の状況 ⑥就業状況（職業別）

県内の在住外国人の就業状況を職業別に見ると、「生産工程従事者」が全体の半数以上を占め、次いで「サービス職」「専門・技術職」が多い。

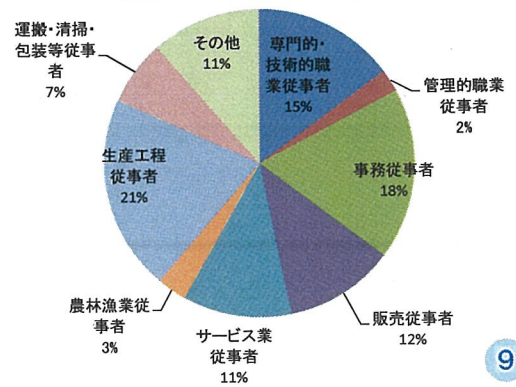
職業（大分類）	従業者数（人）
総数	6,804
専門的・技術的職業従事者	552
管理的職業従事者	99
事務従事者	273
販売従事者	404
サービス職業従事者	604
農林漁業従事者	104
生産工程従事者	3,674
運搬・清掃・包装等従事者	400
その他	694

資料出所：平成27(2015)年国勢調査

富山県内の外国人の就業状況（職業別）



富山県の就業状況（職業別）



9

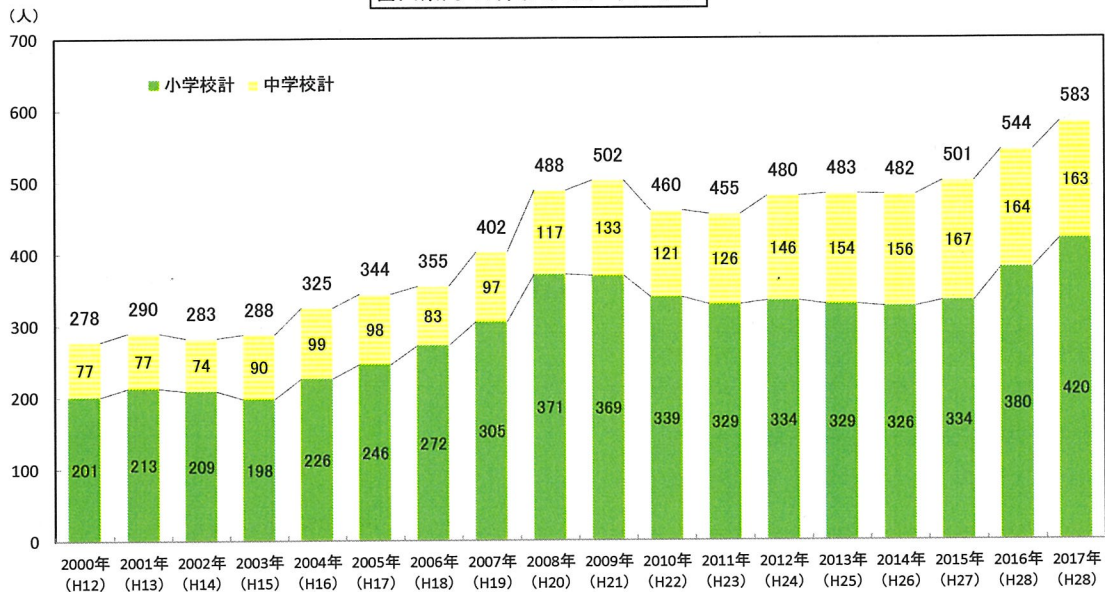
外国人住民の状況 ⑦外国人児童生徒数

県内の外国人児童生徒数は、平成18年から平成21年までに急増した。その後、平成22年、23年に減少に転じたが、その後再び増加している。

各年5月1日時点

資料出所：文部科学省「学校基本調査」

富山県内の外国人児童生徒の推移



資料出所：文部科学省「学校基本調査」（各年5月1日時点）

10

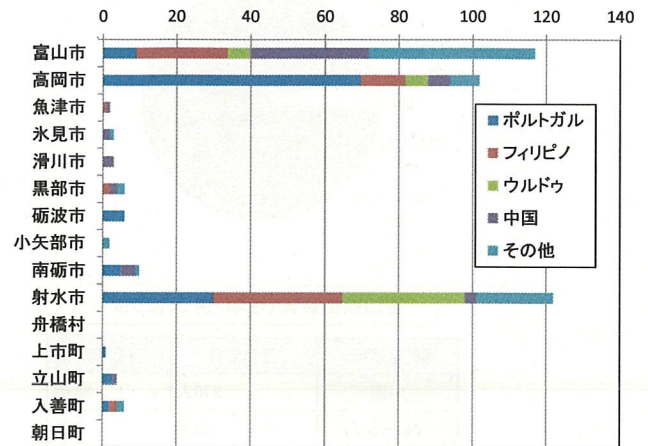
外国人住民の状況 ⑦日本語指導が必要な児童生徒数

日本語指導が必要な児童生徒のうち、母国語がポルトガル語の児童生徒が全体の32.8%を占める。また市町村別には射水市、富山市及び高岡市に外国人児童生徒が多い。

【小中学校 合計】
(平成30年5月1日現在)

日本語指導が必要な小中学校児童生徒の状況(母国語別)

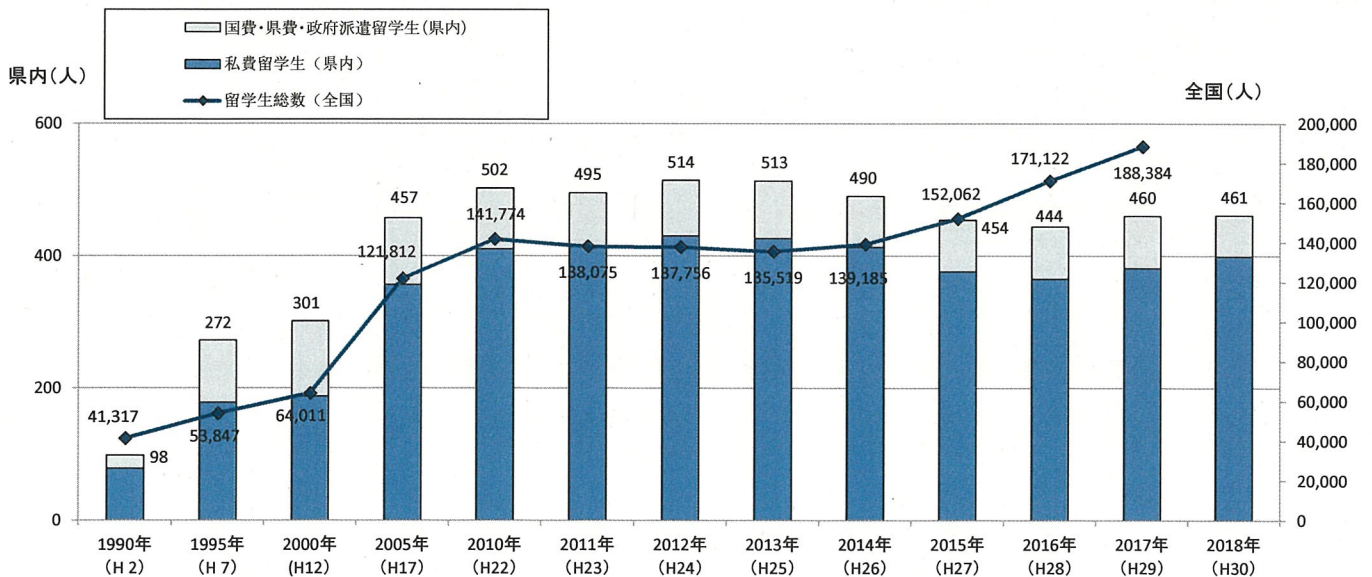
	日本語指導を要する児童数	ポルトガル	フィリピン	ウルドゥ	中国	その他
富山市	117	9	25	6	32	45
高岡市	102	70	12	6	6	8
魚津市	2	0	1	0	1	0
氷見市	3	0	0	0	2	1
滑川市	3	0	0	0	3	0
黒部市	6	0	2	0	2	2
砺波市	6	6	0	0	0	0
小矢部市	2	0	0	0	0	2
南砺市	10	5	0	0	4	1
射水市	122	30	35	33	3	21
舟橋村	0	0	0	0	0	0
上市町	1	1	0	0	0	0
立山町	4	3	0	0	1	0
入善町	6	2	2	0	0	2
朝日町	0	0	0	0	0	0
合計	384	126	77	45	54	82



資料出所: 富山県教育委員会
「日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒等の実態調査」
(平成30年5月1日現在)

外国人住民の状況 ⑧留学生

県内の高等教育機関で学ぶ外国人留学生の数は減少傾向にあったが、平成29年は5年ぶりに増加した。また、私費留学生が全体の8割以上を占めている。なお、全国の留学生総数は、平成29年に初めて18万人を突破した。

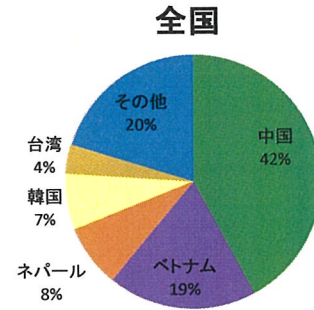
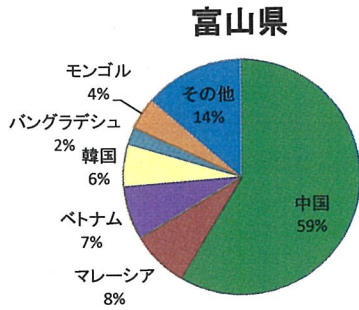


資料出所: 富山県留学生等交流推進会議、日本学生支援機構(各年5月1日現在)
注: H2年の外国政府派遣及び富山県費留学生は、私費留学生を含む

外国人住民の状況 ⑧留学生（出身国別）

県内の外国人留学生を出身国別に見ると、中国が全体の6割程度を占め、次いでマレーシア、ベトナム、韓国、モンゴル、バングラデシュと続き、アジア出身者が多い。全国では、中国の次に、ベトナム、ネパール、韓国、台湾の順になっている。

外国人留学生の出身国(地域)別の状況



富山県出身国(地域)別 上位5位

国(地域)名	留学生数	構成比
中国	270人	58.6%
マレーシア	36人	7.8%
ベトナム	34人	7.4%
韓国	27人	5.9%
モンゴル	20人	4.3%
バングラデシュ	11人	2.4%

資料出所: 富山県留学生等交流推進会議
(2018年(平成30年)5月1日時点)

全国出身国(地域)別 上位5位

国(地域)名	留学生数	構成比
中国	79,502人	42.2%
ベトナム	35,489人	18.8%
ネパール	14,850人	7.9%
韓国	13,538人	7.2%
台湾	6,994人	3.7%

資料出所: 独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO)
(2017年(平成29年)5月1日時点)